



# いわてコントラクター等利用推進協議会

会報 vol.1 (H28年11月発行)

- 「いわてコントラクター等利用推進協議会」は、コントラクター及びTMRセンターの機能強化及び組織間のネットワーク化を目的に、本年6月、(公社)岩手県農業公社、全農岩手県本部、岩手県の3者で設立した協議会です(随時、コントラクター等の協議会入会も受付中)。
- 設立1年目となる今年は、コントラクター等の機能強化に向け、①牧草ダイレクトカット収穫、②ICTを活用した圃場管理システムによる作業の効率化の2つの実証試験等に取り組んでいるところです。
- 会報第1号の今回は、「牧草ダイレクトカット収穫」の取組状況のほか、研修会やコントラクター向け補助事業についての情報を提供します。

## ■ 牧草ダイレクトカット収穫とは？

県内の牧草収穫は、通常、予乾体系により収穫・調製されているところです。

しかしながら、予乾体系の収穫作業は、降雨等があった場合、そこで作業を中断せざるを得ず、コントラクター等に限られた期間内に広域的に作業受託する場合には、作業の効率面で課題があります。

このような中、北海道の一部地域では、予乾工程を短縮あるいは省略し、収穫・調製する「牧草ダイレクトカット収穫」が実施されています。

そこで、本協議会では、今年度、この「牧草ダイレクトカット収穫」について、①先進地研修、②現地実証を実施し、本県への技術導入の可能性等を検証しています。

### ① 先進地研修

協議会では、「牧草ダイレクトカット収穫」を実際に行っている北海道帯広方面で現地調査を行いました。その結果、以下の点を確認しました。

#### ア 技術導入のメリット

- ・天候変化への対応が容易(降雨直前までの作業が可能)。
- ・トラクター・モアコン等の作業機械が不要(作業機械の維持経費の削減が可能)。
- ・コントラクター等では、オペレーター人数・人件費の削減も可能。

#### イ 技術導入のポイント・留意点

- ・良質なグラスサイレージ調製には、「予乾」することがベストだが、気象条件、作業条件から予乾時間を十分に確保出来ない場合(高水分サイレージの調製)は、ギ酸等の添加剤を使用し、強制的にpHを下げるのが有効(酪酸発酵の阻止!)。
- ・原料草の水分72~76%以上では発酵品質が低下するため、添加剤は必ず必要。
- ・マメ科牧草は水分が多いほか、pHが下がりにくいことから、牧草ダイレクトカット収穫にはイネ科単播草地在適す(北海道豊頃町では、技術導入に当たり、畜産農家が自主的にイネ科単播草地へ植生改善)。



写真① 牧草ダイレクトカッターを装着した自走式ハーベスター



写真② 牧草ダイレクトカット収穫の作業状況(北海道豊頃町)

## ② 現地実証

先進地研修等を踏まえ、(公社)岩手県農業公社の協力のもと、現地実証を行いました。

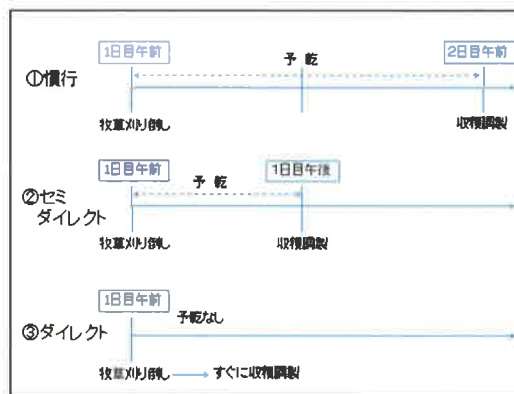
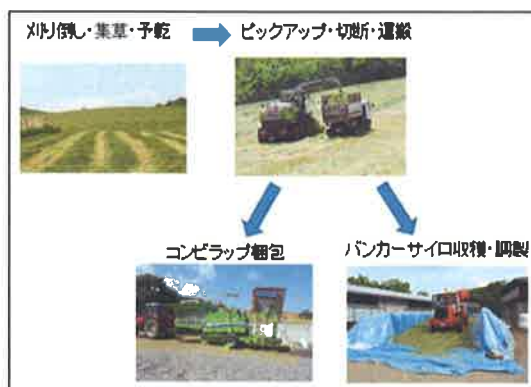
なお、県内のコントラクター等では、牧草ダイレクトカッターの導入実績がないことから、本現地実証では、既存機械(モア、自走式ハーベスター、コンビラップ)を活用した体系により収穫・調製し、発酵品質等の飼料分析を行いました。

### ア 日時・場所

平成 28 年 6 月 27、29 日 種山高原牧野(チモシー主体草地:2ha)

### イ 収穫・調製方法

- ・収穫は、慣行(予乾体系)、セミダイレクト及びダイレクトの3体系で実施。
- ・ロール調製のほか、簡易バンカーサイロで調製(各1ha)。
- ・調製時には、高水分サイレージに適すとされる乳酸菌2剤を使用。



### ウ 結果(中間)

・「短時間の予乾(セミダイレクト)」あるいは「予乾なし(ダイレクト)」でサイレージ調製した結果、出来上がった高水分サイレージの発酵品質は慣行(予乾体系)と遜色なく、良好であった(下表)。

・また、今回実際に行った作業の進捗状況から、牧草ダイレクトカット収穫は、予乾工程の短縮・省力化により、降雨直前まで作業を実施でき、慣行(予乾体系)と比較し、適期に短時間で作業を進めることが可能であることが確認出来た。

【表 調製試料の水分及び発酵品質の比較】

区分	予乾時間	水分 (%)	V-スコア※ (満点 100 点)
慣行(予乾体系)	約 1 日	50.2	92.0
セミダイレクト	約 6 時間	73.6	91.6
ダイレクト	なし	78.3	94.0

※Vスコア:サイレージの発酵品質評価法(100~80点が良、80~60点が可、60点以下が不良)



写真③、④ 牧草ダイレクトカット収穫で調製した牧草ロール及びサイレージ

## ■ 研修会開催（協議会主催）のお知らせ

協議会では、コントラクター等の更なる機能強化・連携強化に向け、下記のとおり研修会を開催します。

なお、本研修会は、コントラクター等のほか、畜産農家を対象とした研修会ですので、お誘いあわせのうえ、ご参加ください（協議会への加入・未加入は問いません）。

### 平成 28 年度いわて飼料増産研修会 ～飼料生産の外部化で酪農・畜産の収益力向上！～

#### ◆ 目的

畜産経営の高齢化や飼養規模の拡大に伴う労働力不足が進展する中、コントラクターやTMRセンター等の飼料生産組織（以下「コントラクター等」という。）に寄せられる期待はますます高くなっている。

このような期待に応えるため、コントラクター等には、これまでの「作業の一部を受託する組織」から「地域の飼料生産を主体的に担う組織」として、圃場の状態等を確認し、収量や品質の向上に向け提案を行うなどの機能を付加・強化していく必要がある。

このため、コントラクター等の粗飼料生産や圃場管理の高度化を図ることを目的に本研修会を開催する。

#### ◆ 日時

平成 28 年 12 月 21 日（水） 13:00～15:50

#### ◆ 場所

岩手産業文化センター・アピオ 第9会議室（2階）  
岩手県滝沢市砂込 389-20（電話：019-688-2000）

#### ◆ 内容

##### （1）講演（13:10～14:40）

「(仮) 飼料（えさ）づくり ～草地の維持管理に関する理論と実践～」

ホクレン農業協同組合連合会 肥料農薬部 特任技監 松中照夫 氏（酪農学園大学名誉教授）

##### （2）情報提供（14:50～15:50）

ア 牧草ダイレクトカット収穫技術について（岩手県・中央農業改良普及センター）

イ ICTを活用した圃場管理システムの導入について（岩手県・畜産研究所）

ウ 東北向け公的育成牧草・飼料作物品種の紹介（一般社団法人日本草地畜産種子協会）

#### ◆ 参集範囲

県内のコントラクター・TMRセンター、畜産農家、関係機関・団体

#### ◆ 主催

いわてコントラクター等利用推進協議会、一般社団法人日本草地畜産種子協会

#### ◆ 参加申し込み

平成 28 年 12 月 9 日（金）までに、最寄りの広域振興局及び農林振興センター等へ報告  
〔下記、問い合わせ先（協議会事務局）への報告でも可〕



## ■コントラクター等向け補助事業の紹介

コントラクター等を支援対象とした補助事業の概要を下記のとおり紹介します。

事業の活用を検討したい場合や詳しく内容を確認したい場合等は、お気軽に最寄りの広域振興局及び農林振興センター等あるいは県庁畜産課にお問い合わせください。

### (1) 国産粗飼料増産対策事業

	事業メニュー	
	①飼料生産組織機能高度化	②高栄養粗飼料増産対策
内容	コントラクター等が地域の飼料生産の担い手として機能の高度化を図るため、国のガイドラインに則し、飼料生産作業の集積等により生産機能の強化を図る取組を支援	コントラクター等による ①青刈りトウモロコシ等の前年度からの拡大面積 ②アルファルファ等のマメ科牧草の牧草地への追播面積に応じて支援
対象	次のいずれかの取組が対象 ①飼料生産業の集積による飼料生産機能の強化 ②国産粗飼料の供給機能の強化 ③草地コンサルタント機能の強化 ④他の飼料生産組織等との連携による機能の強化	①高エネルギー飼料作物 青刈りトウモロコシ、ソルゴー ②高タンパク質マメ科牧草 アルファルファ、シロクロパー、アカクロパー、ガレガ
支援内容	○ 検討会の開催費、先進事例の調査費、土壌・飼料等の分析費等 …【補助率：定額】 ○ 飼料生産機能の高度化に必要な農業生産資材費、農作業機械のレンタル費等 …【補助率：1/2以内】	①高エネルギー飼料作物 ・飼料作付（27千円/ha） ・飼料収穫（40千円/ha） ・TMR調製供給（20千円/ha） ②高タンパク質マメ科牧草 ・マメ科牧草追播（10千円/ha）
事業要件	コントラクター等は、農協、公社、農事組合法人、若しくは、農協等が株主になっている株式会社、複数の農業者が構成員となっている組織（法人化することが見込まれること）等であること。 国のガイドラインに則した「飼料生産高度化プログラム」の策定。	①高エネルギー飼料作物は、前年度より1ha以上かつ5%以上作業面積を拡大すること。 ②高タンパク質マメ科牧草は、1ha以上作業すること。

### (2) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（通称：畜産クラスター事業）

畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体（コントラクター等）に対し、自給飼料の増産や品質の向上等を図るために必要な「機械導入」や「施設整備」を支援…【補助率：1/2以内】。

事業区分	主な対象機械・施設等（コントラクター、TMRセンター）
機械導入（リース）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼料播種・追播機械（牧草播種機、牧草追播機、とうもろこし播種機 等）</li> <li>・飼料収穫・調製用機械（収穫機、反転機、集草機、梱包機、運搬機 等）</li> <li>・草地管理用機械（心土破碎、表層攪拌、覆土、鎮圧、除草剤散布機 等）</li> <li>・飼料調製用機械（TMR等の混合・攪拌機、梱包解体機、格納用機械 等） 等</li> </ul>
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼料保管施設（飼料庫、バンカーサイロ、ストックヤード 等）</li> <li>・飼料調製施設（TMR飼料製造設備等含む） 等</li> </ul>

※本内容には、平成29年度当初予算（概算要求）の内容が含まれることから、今後変更される可能性があります。

### ～ お問い合わせ先（協議会事務局） ～

岩手県農林水産部畜産課 畜政担当（佐藤）  
TEL：019-629-5727 FAX：019-623-0201  
E-mail：AF0009@pref.iwate.jp



# いわてコントラクター等利用推進協議会 会員募集!!



## ■ いわてコントラクター等利用推進協議会とは？

本協議会は、コントラクター及びTMRセンター（以下「コントラクター等」という。）の育成・強化を通じて、自給飼料増産及び酪農・肉用牛経営の持続的発展に寄与することを目的に、平成28年6月に新たに設立した組織です。

協議会では、県内で稼働するコントラクター等の機能強化及び組織間のネットワーク化に向けた活動を展開していく予定です。

## ■ 対象

1. コントラクター等（TMRセンター含む）
2. コントラクター等を利用する（又は利用を検討している）畜産農家
3. コントラクター等を支援する関係者（行政、生産者団体、機械・資材等メーカー等）

## ■ 会員特典

### ① 各種情報をお届けします！

- ・研修会、情報交換会の開催案内
- ・活用可能な補助事業等の情報
- ・会員からの情報（生育状況、技術情報等）

### ② コントラクター等の機能強化に向けた新たな取組を支援します！

- ・現地実証試験の実施
- ・先進地研修の実施



【現地実証（牧草がく刈り取り機 H28.6）】



【先進地研修（北海道帯広 H28.6）】



## ■ 入会申込

必要事項を記載して頂き、FAXにより、下記事務局あてにお申し込みください。

団体名		
代表者名		
電話番号・FAX番号	TEL:	FAX:
メールアドレス		
住所	(〒:      -      )	

いわてコントラクター等利用推進協議会事務局（担当：佐藤）

**FAX：019-623-0201**

住所 | 〒022-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 岩手県農林水産部畜産課内  
お問合せ | TEL:019-629-5727 Mail: AF0009@pref.iwate.jp